

年 月 日

2009年4月から2014年12月までに橈骨遠位端骨折 に対する保存治療を受けられた患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2014年12月22日）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名：Colles骨折に対する保存治療における矯正損失の予測因子としてのX線学的検討：後ろ向き研究

2. 研究期間：2019年3月～2019年4月

3. 研究機関：産業医科大学整形外科

4. 実施責任者：善家 雄吉

5. 研究の目的：本研究では、橈骨遠位端骨折に対する保存療法を行う際の画像評価の一つとして、整復直後のX線側面像に着目して骨折型を分類し、X線パラメータの経時的変化量を統計解析し、コレス骨折の保存治療におけるX線パラメータの経時的変化に与える影響を明らかにすることである。

6. 研究の方法：前川整形外科医院、古川ひでき整形外科医院にて、2009年4月1日～2014年12月31日までの期間に、橈骨遠位端骨折症例を抽出し、保存治療で経過観察を行った症例を後ろ向きに画像所見のみを調査する疫学研究である。

7. 個人情報の取り扱い：データは、対象者が特定できないように、本学個人識別情報管理者の管理の下で、被験者番号を付してその番号と実名の対応とともに鍵のかかる本学整形外科研究室に保管します。この研究により得られた成果を論文などに発表する場合には、個人を特定できる氏名、住所などの個人情報は一切使用しません。個人情報は、研究終了後5年間保管し、匿名化を確認した上で廃棄します。利用の拒否を申し出られた場合は、当該患者さんのデータを使用しません。また、利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

8. 問い合わせ先：産業医科大学 整形外科 善家 雄吉 (Tel: 093-691-7444)

9. その他：患者さんへの経済的負担や謝礼はありません。本研究は一切の利益相反はなく、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。

